

デザイン学学位プログラム(博士後期課程)

専門科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------|------|-----|--------|------|-----|----|--|---|--|
| OBTU011 | デザイン学特別研究A | 2 | 2.0 | 1 | 春ABC | 随時 | | 小山 慎一, 山田 協太, 山中 敏正, 星野 聖, 花里 俊廣, 星野 准一, 山中 克夫, 山本 早里, 内山 俊朗, 山田 博之, 増田 知之, 氏家 弘裕, 岩木 布田 健, 平光 厚雄, 大友 邦子, 辻 泰岳 | デザイン学の博士修了研究へ向けて、学生自らが設定した課題に関して、その背景と目的の整合性を明確にし、研究の学術的な価値について議論を交えて指導する。 さらに研究仮説を立て、その定義を明確にするための議論を行い、具体的な修了研究のための調査実験の計画を導く。 | その他の実施形態 対面を中心として一部 オンライン(同時双方向型)を組み合わせて実施 |
| OBTU012 | デザイン学特別研究B | 2 | 2.0 | 1 | 秋ABC | 随時 | | 小山 慎一, 山田 協太, 山中 敏正, 星野 聖, 花里 俊廣, 星野 准一, 山中 克夫, 山本 早里, 内山 俊朗, 山田 博之, 増田 知之, 氏家 弘裕, 岩木 布田 健, 平光 厚雄, 大友 邦子, 辻 泰岳 | デザイン学の博士修了研究へ向けて、学生自らが設定した課題の研究仮説を確認し、仮説検証のために必要な調査実験の計画について議論し、具体的な調査実験の指導およびその試行の評価と議論を行い、修了研究を具体化する。 | 主専攻必修科目 その他の実施形態 対面を中心として一部 オンライン(同時双方向型)を組み合わせて実施 |
| OBTU013 | デザイン学特別研究C | 2 | 2.0 | 2 | 春ABC | 随時 | | 小山 慎一, 山田 協太, 山中 敏正, 星野 聖, 花里 俊廣, 星野 准一, 山中 克夫, 山本 早里, 内山 俊朗, 山田 博之, 増田 知之, 氏家 弘裕, 岩木 布田 健, 平光 厚雄, 大友 邦子, 辻 泰岳 | デザイン学の博士修了研究へ向けて、具体的な調査実験の結果およびその分析について講評会形式で議論を深めることで課題を発見し、その課題解決のための調査実験計画の指導およびその実施について議論を行い、具体的な修了研究の分析を進める。 | その他の実施形態 対面を中心として一部 オンライン(同時双方向型)を組み合わせて実施 |
| OBTU014 | デザイン学特別研究D | 2 | 2.0 | 2 | 秋ABC | 随時 | | 小山 慎一, 山田 協太, 山中 敏正, 星野 聖, 花里 俊廣, 星野 准一, 山中 克夫, 山本 早里, 内山 俊朗, 山田 博之, 増田 知之, 氏家 弘裕, 岩木 布田 健, 平光 厚雄, 大友 邦子, 辻 泰岳 | デザイン学の博士修了研究へ向けて、調査実験の結果およびその分析に基づき仮説の検証、目的との対応について考察した結果を講評会形式で議論を深め、修了研究における高度な考察をまとめる。 | 主専攻必修科目 対面を中心として一部 オンライン(同時双方向型)を組み合わせて実施 |
| OBTU061 | インターンシップ | 2 | 2.0 | 1・2 | 通年 | 随時 | | 小山 慎一, 山田 協太, 山中 敏正, 花里 俊廣, 山本 早里, 内山 俊朗, 山田 博之, 大友 邦子, 辻 泰岳 | デザインに関する高度な実践的環境について、現場環境に就いて、実際のデザイン実務について実習する。国内外の企業や実践的プロジェクトにおける実習やインターンシップの機会も活用して、デザインの目的やプロセスを体験として修得する。自らの能力涵養、適性の客観評価を図るとともに、将来の進路決定に役立てる。 | インターンシップ前後に面談を行う その他の実施形態 対面を中心として一部 オンライン(同時双方向型)を組み合わせて実施 |
| OBTU071 | 海外研修1 | 2 | 2.0 | 1 | 春学期 | 随時 | | 小山 慎一, 山田 協太, 山中 敏正, 花里 俊廣, 山本 早里, 内山 俊朗, 山田 博之, 大友 邦子, 辻 泰岳 | 本研修は海外で学生それぞれが設定する高度なデザインテーマに基づいて、フィールドワークに取組む。または海外で行われる国際学会等に出席し研究発表を行い、海外の研究者と交流を行う。国際的な視野を涵養することとともに、国際的な情報収集力および情報発信力を身に着ける。 | その他の実施形態 対面を中心として一部 オンライン(同時双方向型)を組み合わせて実施 |
| OBTU072 | 海外研修2 | 2 | 2.0 | 1 | 秋学期 | 随時 | | 小山 慎一, 山田 協太, 山中 敏正, 花里 俊廣, 山本 早里, 内山 俊朗, 山田 博之, 大友 邦子, 辻 泰岳 | 本研修は海外で学生それぞれが設定する高度なデザインテーマに基づいて、フィールドワークに取組む。または海外で行われる国際学会等に出席し研究発表を行い、海外の研究者と交流を行う。国際的な視野を涵養することとともに、国際的な情報収集力および情報発信力を身に着ける。 | 海外研修前後に面談を行う その他の実施形態 対面を中心として一部 オンライン(同時双方向型)を組み合わせて実施 |

| | | | | | | | | | |
|---------|-------|---|-----|---|-----|----|---|--|--|
| OBTU073 | 海外研修3 | 2 | 2.0 | 2 | 春学期 | 随時 | 小山 慎一, 山田協太, 山中 敏正, 花里 俊廣, 山本早里, 内山 俊朗, 山田 博之, 大友邦子, 辻 泰岳 | 本研修は海外で学生それぞれが設定する高度なデザインテーマに基づいて、フィールドワークに取組む。または海外で行われる国際学会等に出席し研究発表を行い、海外の研究者と交流を行う。国際的な視野を涵養することともに、国際的な情報収集力および情報発信力を身に着ける。 | その他の実施形態 対面を中心として一部 オンライン(同時双方向型)を組み合わせて実施 |
| OBTU074 | 海外研修4 | 2 | 2.0 | 2 | 秋学期 | 随時 | 小山 慎一, 山田協太, 山中 敏正, 花里 俊廣, 山本早里, 内山 俊朗, 山田 博之, 大友邦子, 辻 泰岳 | 本研修は海外で学生それぞれが設定する高度なデザインテーマに基づいて、フィールドワークに取組む。または海外で行われる国際学会等に出席し研究発表を行い、海外の研究者と交流を行う。国際的な視野を涵養することともに、国際的な情報収集力および情報発信力を身に着ける。 | その他の実施形態 対面を中心として一部 オンライン(同時双方向型)を組み合わせて実施 |
| OBTU075 | 海外研修5 | 2 | 2.0 | 3 | | | | 本研修は海外で学生それぞれが設定する高度なデザインテーマに基づいて、フィールドワークに取組む。または海外で行われる国際学会等に出席し研究発表を行い、海外の研究者と交流を行う。国際的な視野を涵養することともに、国際的な情報収集力および情報発信力を身に着ける。 | 2021年度開講せず。 |
| OBTU076 | 海外研修6 | 2 | 2.0 | 3 | | | | 本研修は海外で学生それぞれが設定する高度なデザインテーマに基づいて、フィールドワークに取組む。または海外で行われる国際学会等に出席し研究発表を行い、海外の研究者と交流を行う。国際的な視野を涵養することともに、国際的な情報収集力および情報発信力を身に着ける。 | 2021年度開講せず。 |